

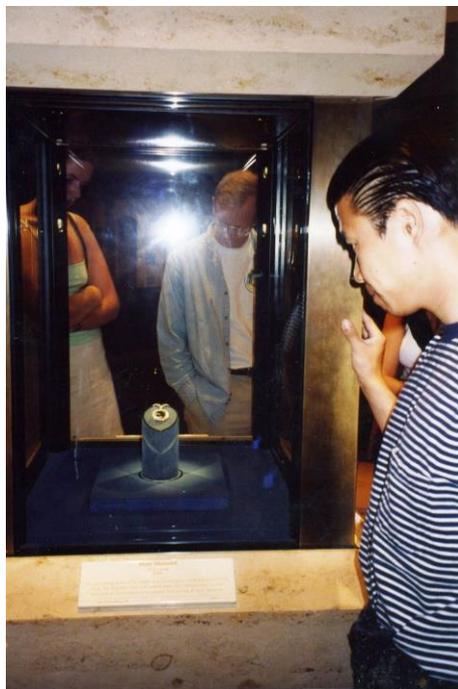
世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「アメリカ」&「カナダ」編（2004）

関西空港からファーストクラスで **ワシントンダレス空港** へ向かった。
アメリカ合衆国（面積：9,626,630Km²、人口：約 30000 万人）の **首都ワシントンD.C.（約530万人）** への目的は、**44.50c t** の **ブルーダイヤモンド** をこの目で確かめるためだ。

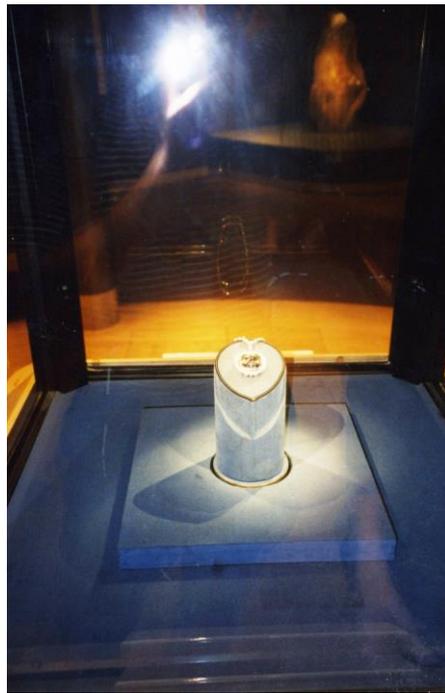


JO の得意とする岡村の大好きなジュエリー、ブルーダイヤモンドを世界的に有名にした『**ホープダイヤモンド**』の実物を認識しないとブルーダイヤモンドは語れないとの思いからだ。彼は、スミソニアン博物館の国立自然史博物館にいた。彼専用の部屋が用意されていて、来館者の注目度も非常に高い。



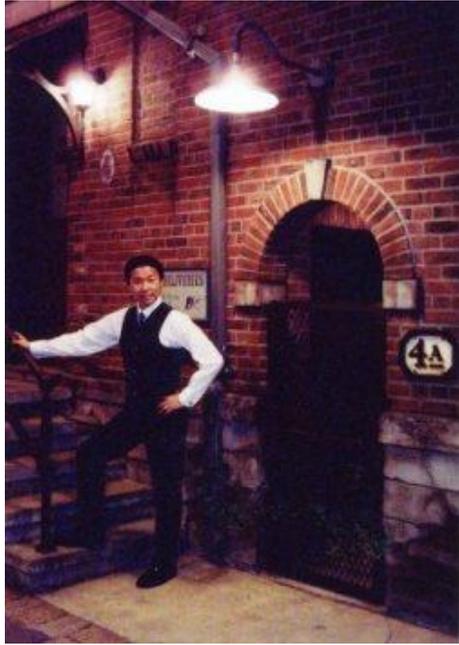
インド の デカン高原 生まれの彼は、コーラルという町を流れる川で地元
の農民により世の中に放たれた。 フランス人 の ジャン・バティスト・
タヴェルニエ により育てられ、数々のドラマティックなエピソードを残し、
平穏な日々を現在過ごしている。

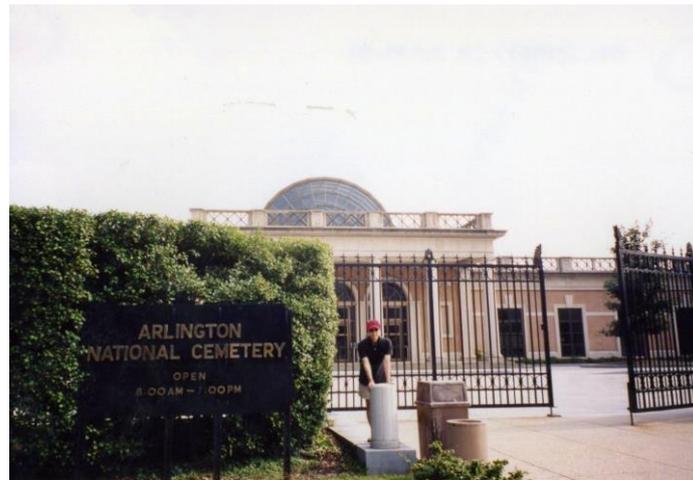
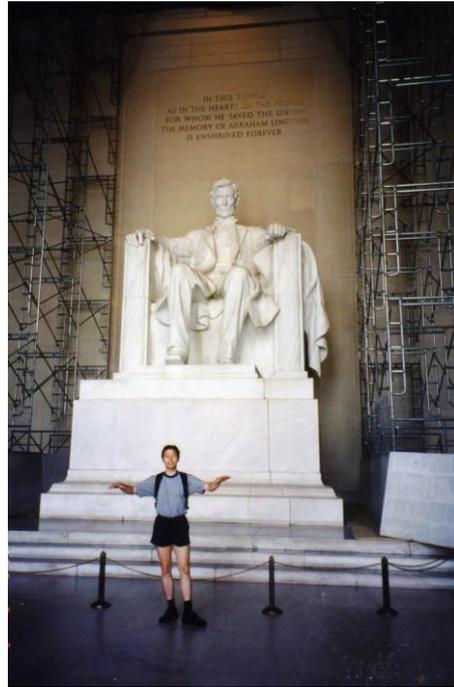
ふっくらとしたオーバルブリリアントカットに整えられ、眩いダイヤモンドに
その身を守られている胸飾りだ。威風堂々としたその存在との出会いは 1 時間
30 分程の新鮮な感慨深い時を過ごさせて頂いた。



半日以上掛けてのワシントン到着だったが、宝石商として本当に有意義で、
必要な見聞だった。折角なので、ワシントンを観光した。ホワイトハウス・連
邦議会・リンカーンメモリアル・アーリントン墓地・ペンタゴンなどをゆっく
りと巡り、 アメリカ政治の心臓部 を観察した。







アメリカ経済の心臓部 の ニューヨーク (約 1850 万人) へ。 JFK 空港
に到着。



ニューヨークへは大粒の研磨済みダイヤモンドの買付けが目的だ。広島とニューヨークの間で予め密に連絡を取りあっていたので実質的なビジネスは既に終え、商品と代金の受け渡しの主となり、命を削る **ネゴシエーション** はない。約束日まで数日あるのでニューヨーク観光だ！

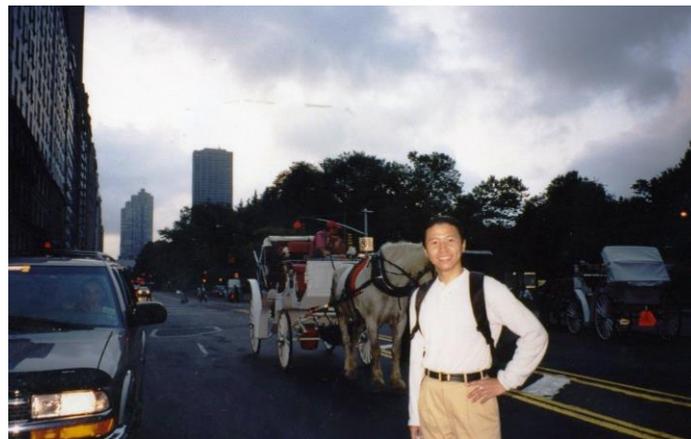


大好きなミュージカルを観覧する為にブロードウェイへ。広告看板が私を迎えてくれた。ニューヨークは世界的にも有名な町なので、世界の一流料理も楽しめる。また、観光とはいえない場所に立ち寄り、ジャズの調べを聴きながら楽しく過ごした。





五番街でのショッピングに疲れると、セントラルパークで馬車に乗り一休み
(馬には騎乗させてもらえなかった)。エンパイアーステートビル、尊敬する
ロックフェラー財団の広場で一休み。瞬く間に日が過ぎた。





商談当日。ニューヨークのダイヤモンド取引主場であるダイヤモンドストリートでは黒帽子に黒マント、黒いスーツに長い白髭の姿が目につく。ダイヤモンド取引はユダヤ人が一手に担っている。(最近ではインド人の台頭も目覚ましい)取引相手が入口まで迎えに出てくれていた。久しぶりの再会である。歓談しながら、無事ビジネスを終えた。ディナーに誘われ(取引先とはビジネス終了後に飲食を共にするのが岡村のモットーだ。ビジネス前だと大きく価格が変動する)、朝まで地元宝石商の商習慣や将来の展望などを聞き入った。どうやら彼は、私の考えるところ「全体最適と部分最適」に存在するコンフリクトに悩んでいるようだ。

広島市が広島県へプロジェクトの資金援助を受けても、広島市民は、広島県民でもある。広島県が国から補助金を受け取っても、広島県民は日本国民でもある。経営者が出くわす悩みの常道だ。私は「タイムスパン」をキーワードにアドバイスをした。誤解を恐れず、大胆に申し上げると、短期収支の場合は、部分最適から全体最適を、また、長期収支の場合は、全体最適から部分最適を

と、細かいケースの想定の質問を受けながら、例外的な場合を含めて答えた。彼はとても熱心に聞き入っていた。やはりビジネスでは、**ウィン・ウィンリレーションシップ** が肝要だ。(お互いに勝ち、敗者を作らない)



ちなみに、ニューヨークの 5 番街といえば **ブルーズイサイト** (タンザナイト) だ。

ここで、シンプルに 『**ブルーズイサイト**』 を説明しよう。

正式名を **BLUEZOISITE** (日本名：**灰簾石**，化学成分： $\text{Ca}_2\text{Al}_3\text{Si}_3\text{O}_{12}(\text{OH})$ ，宝石言葉：**誇り高き人** (高貴)・**冷静**・**空想**，**12月の誕生石**) と呼び、モース硬度 (押し込み強度) は、**6~7** である。名前の由来は、**1967年** (何故か感慨深い年号だ) **タンザニア** アルーシャ地区メレラニ鉱山で発見され、**キリマンジャロ** の夕暮れ時の空を映し出したような美しい青紫色をしているので、『**タンザニアの夜**』を意味する **タンザナイト**

ト の名を持った。



纏わる **物語** としては、**アメリカ** の宝石商 **ティファニー** が美しさを見だし、**1980年代** にはアメリカを中心に人気を呼び、そして、世界へ広がった。

多色性（三色性）という特徴を持っており、角度によって **青色** や **紫色** が強く見える宝石だ。また、同時に **青色と紫色**、**紫色と赤色** を有する場合がある。

さて、**カナダ** へ向かおう！



JFK 空港 から **カナダ**（面積：9,984,670Km²、人口：約 3250 万人）の **カルガリー空港** まで再びファーストクラスで。（これには訳がある）



車で **カルガリー** (約 99 万人) の歴史や文化の案内を受けながら世界で 3 番目に古い国立公園、 **バンフ国立公園** へ向かった。1988 年に開催された冬季カルガリーオリンピックのスキージャンプ台が目飛び込む。(傾斜が鋭角で距離も想像以上に長く感じた) 移動中、鹿や熊の飛び出しに注意という看板がとてもユニークだった。そして、動物たちの往来の為に、国道を横切る形で動物専用トンネルが存在した。共存への配慮を強く感じた。



バンフ (約 8400 人) へは、観光客向けの宝石を仕入れさせて欲しいという依頼で、この機会に寄ってみた。ロッキー山脈の最大級の観光スポットである **コロムビア大氷原** を訪れる観光客用だという。バンフに着くと早速、路面電車やバスを使って目的地へ。随分時間が掛かった。(迎えを断ってしまったことに後悔) 聞くと、お土産用の **エメラルド・ガーネット** が希望とのこと。(単純な連想だ。しかし、意外とリクエストが多いのだそうだ)

コロムビア産 の **エメラルド** は **石灰岩母岩** のため希少価値が高く

高価 な為、 **ブラジル** など多く採掘される **バイオタイト片岩** の **安価** な **エメラルド** を提供することに。(真珠のアコヤ真珠と淡水真珠の相違と同じ類だ) **ガーネット** は、暗茶褐色の **アルマンディンガーネット** と明茶褐色の **パイロップガーネット** の中間色、これまた **ブラジル産** の **ロードライトガーネット** を提供することになった。

ここで、シンプルに 『**ガーネット**』 を説明しよう。

正式名を **GARNET** (日本名：**柘榴石**，化学成分： $\text{Fe}_3\text{Al}_2(\text{SiO}_4)_3$ ，宝石言葉：**勝利・真実・友愛・優雅**，**1月の誕生石**) と呼び、モース硬度(押し込み強度)は、**7.5** である。名前の由来は、ラテン語の「**Granatus**」(種子) に由来している。



纏わる **物語** としては、**ドイツ** の詩人 **ゲーテ** の若い恋人 **ウルリーケ** は、**ゲーテ** とのデートの度に密かに **ガーネット** を身に着けていた。これは、「**心よりあなたを愛しています**」というメッセージをガーネットに託したからだ。宝石は想いを込めて身に着ける時、相手に様々なメッセージを運ぶ。想いが通じたのか、**ウルリーケ** は、**ゲーテ** の最期を看取った。**ウルリーケ** が身に着けていたガーネットは現在、**ボヘミア・ガーネット博物館** に所蔵されている。

商談がまとまったので観光だ！美しく幻想的な湖を巡り、もちろん、 **コロ**

ムビア大氷原 も体感した。とても寒かった。

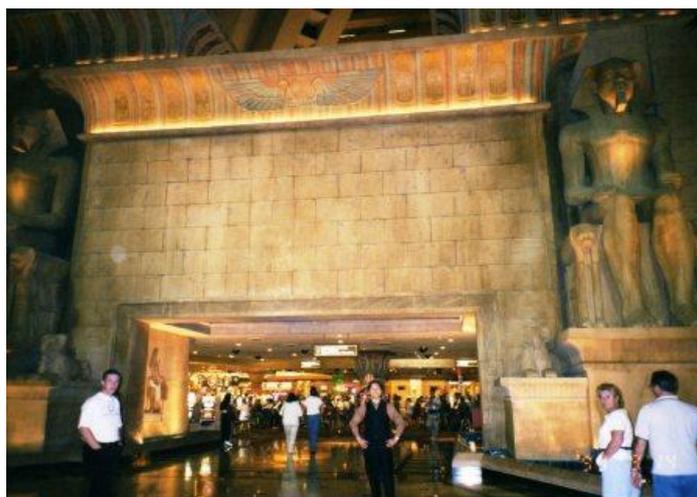


今回の 『買付け』・『商談』 は、

ワシントンD.C. => ニューヨーク => カルガリー => バンフ



と移動距離が長かったなので、疲れを癒すために ラスベガス へ向かった。



宿泊した **ルクソールホテル** から放つ光の矢に迎えられ、ミュージカルやCASINO を楽しみ、ヘリコプター移動でフーバーダムや娯楽を満喫した後、光りの矢に見送られ日本へ戻った。

